



こつよつ



平成 26 年度卒業生



PTA会長 小野寺 孝明

卒業に寄せて

春寒しだいに緩み、確実な春の訪れを実感する平成二十七年三月一日、気仙沼向洋高校を卒業されます皆さん、ご卒業おめでとございませう。保護者の皆様にはお子様が立派に成長され、ご卒業を迎えましたことお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは震災からの復興が始った仮設校舎への入学でしたね。その後、体育館、実習棟の完成等、世間からの注目が集まる中で、ご卒業はとも緊張を伴ったことと思いますが、勉強に部活動にたくさん成果を出して頂いた事に我々はその数を上回る感動を頂きました。皆さんはこの卒業を持って大人への階段をまた一つ上がるわけですが、向洋高校の教職員の皆様や同窓会の皆様を始め多くの方々との出会いやご指導による三年間で培われたハキハキ且つ爽やかな挨拶、目標達成のためのチャレンジ精神、他人への感謝、常に人を思いやる心を胸に、前進・希望が言葉のカーペラのような花を咲かせて欲しいと期待しております。

PTA会員の皆様にはこの一

年間多大なる御協力と御支援を賜りましたことに深く感謝致しております。復興の道半ばの現在、依然として厳しい環境が続いております中、本吉支部の事務局校を兼ねて活発なPTA活動を行えたのは会員の皆様のお子様への愛情とPTA活動へのご理解と感謝しております。

本年度は仮設の校庭整備も始まり見える形で復興が進んでおり、子供たちの活動の制限が狭まりつつあります。

末筆になりましたが、新年度も向洋高校と子どもたちの一番身近な応援団として活発な活動になりますよう祈念しております。



校長 千田 健一

夢の実現に向けて

父母教師会の皆様には、日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、この度卒業を迎えられた三年生の保護者の皆様には、ご卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、卒業する生徒諸君には、入学以来三年間仮設校舎での生活ということで制約の多い厳しい教育環境の下での活動ながら、素晴らしい成果をあげてくれたことに対し、敬意を表するものであります。

私はこの一年、「震災で傷ついた故郷の復興に向け、勇気と元気を発信してほしい」というお願いをし、生徒たちはその期待に見事に応えてくれました。

ヨット部、相撲部の東北大会出場をはじめ、ラグビー部の四年ぶりの県ベスト4に代表される部活動での活躍、公民館祭りや道の駅、産業フェアでの名物サシマ缶の販売と学校PR、地域の皆さんと共同での防災訓練や清掃活動など、その活躍は多岐にわたるものであります。また、リアスフードコンテストでは本校生が開発したサメ肉団子がグランプリを獲得、この度東京の一流ホテル内レストランで商品化され提供されるという快挙も成し遂げました。このような見事な成果は、生徒の頑張りとは勿論のことですが、保護者の皆様方のご理解とご支援によるものと改めて深く感謝申し上げます。

高校での三年間というものは、大人への気持ちの切り替えとともに、まさに人生の大きな岐路に立たされている時期ともいえます。時には人間関係に悩み、将来に不安を抱え苦悩する日々を送ったこともあるでしょう。しかし、その苦難を乗り越えた先には限りなく広がる明るい未来が必ずや待ち受けていることでしょう。自分の可能性を信じ、どのような困難に遭遇しようとも、高校三年間で得た様々な経験を生かし、夢の実現に向けてたくましく歩んでいくことを願っています。

最後になりますが、今後の在校生の更なる活躍と本年度卒業する生徒諸君の活躍を期待するとともに、本校が隆盛・発展していきますように皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

向洋高校PTAの二年

四月

20日（日）
PTA総会
PTA総会から今年度の活動がスタートし、総会には百十名の会員にご出席いただきました。



今年度役員のおいさつ

六月

20日（金）
第一回本部役員会
第一回本部各種委員会



第1回本部役員会

七月

4日（金）5日（土）
第六十三回東北地区高等学校PTA連合会大館大会参加

八月

29日（金）
第二回本部役員会
第二回本部各種委員会

九月

21日（日）
PTA研修旅行
今年度は、釜石から三陸鉄道南リアス線に乗り、恋し浜駅で「ホタテ貝の絵馬掛け」をしました。また、陸前高田市の復興に向かう様子などを車窓から目にしました。天気にも恵まれて、とても有意義な研修旅行となりました。



八木澤カフェで記念撮影（陸前高田市）

19日（金）30日（火）
交通安全啓発運動

秋の交通安全運動に合わせて、五つの支部が行いました。唐桑支部は十九日に、新月支部と条南支部が二十二日から二十六日にかけて、階上支部は二十四日に、鹿折支部は三十日に、街頭で交通安全を呼びかけました。

十月

23日（木）
県高P連六十周年記念式典・みやぎ高校PTAフェスティバル参加
26日（日）
登校時一声運動・向洋祭参加
今年もたくさんの方の会員にご協力いただきました



登校時一声運動



向洋祭PTAブース



条南支部有志の餅振る舞い

十一月

16日（日）
高P連本吉支部指導者研修会
（本校視聴覚室）
寒い中、大勢の方々に参加いただきました。講演会では、齊吉商店専務の齊藤和枝氏より「若い方に期待すること、震災を乗り越えて」の題で、気仙沼から発信したいことなどをお話いただきました。



齊藤和枝氏



本校小野寺会長の発表

一月

23日（金）
第四回役員会
平成二十七年に向けての準備が始まりました。

PTA支部だより

新月支部

支部長 米川 千草

五月の支部総会を活動のスタートとし、九月には昨年と同様に交通安全啓発運動を行い、条南支部の方々との合同の活動が出来て、とても良い支部活動となりました。少ない人数の新月支部ですが保護者の方々のご協力のおかげで一年間活動していくことが出来ました。支えて下さった先生方、保護者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

気仙沼支部

支部長 岩下 弘樹

早いもので支部長になって一年が経ちました。自分は何もしてない気がしますが、なんとかやってきました。これも役員の方々、先生方、支部の皆さんのおかげです。気仙沼支部では防犯パトロール、朝の一声運動、向洋祭PTAブース等の活動を行いました。防犯パトロールでは男性の方々に、向洋祭PTAブースでは女性の方々に、お忙しい中、ご参加いただきました。今後ともこのような活動を活発に行い、支部の活性化と保護者同士の交流を深めて行ければ幸いです。皆様ご協力ありがとうございました。

鹿折支部

支部長 遠藤 光晴

鹿折支部では、六月に支部総会を行い、九月には秋の交通安全運動として、鹿折八幡大橋において警察署と学校からののぼりを持つて朝の通勤時間帯に十七人で参加しました。鹿折支部としての活動が震災後、ほとんど出来なかった状況の中、他支部の活動を参考に、今後保護者同士の交流も行って、今後保護者同士の交流も行って、今年度は、先生方、会員の皆さん、支部の活動にご協力いただきましてありがとうございます。



親子で交通安全を呼びかけ

面瀬支部

支部長 千葉友紀子

昨年の役員改選時、支部長となり、早いもので一年になろうとしています。あつという間の一年でしたが、皆さんの協力があつてこ

れまでやってこられたと思います。年々、面瀬支部は会員数が増えてきています。話し合いを重ね、今後いろいろと活動の幅を広げて行けたらと思っています。一年間ありがとうございました。

本吉支部

支部長 佐藤 孝子

本吉支部では、五月に支部総会、十一月には先生方とはまなす海洋館で懇親会を行いました。支部長を引き受けたものの、私用が重なり、開催が遅びてしまい、会員の皆さまや先生方にも迷惑をおかけしました。それでも忙しい中、学校行事・支部活動に参加ご協力いただきました。一年間お世話になり、ありがとうございます。

歌津志津川支部

支部長 三浦 美子

五月の支部総会で支部長に任命されたものの、小中学校の子どもの学校行事と重なり、名ばかりの支部長で、本部の方や他の会員の方々にいろいろなPTA活動に参加していただき、支部会員の皆様に支えられた一年でした。

来年度は学校そして歌津志津川支部の為に一つでも多くのPTA活動に参加していただきたいと思っています。一年間ご協力ありがとうございました。

頑張つてます向洋生

無事に帰ってきました

—情報海洋科長期航海実習—

情報海洋科海洋類型の二年生十九名は、四十五日間の長期航海実習として九月十日に気仙沼港を出港しました。初めのうちは船酔いに悩まされていましたが、ハワイ沖での九回の操業実習を終え、その後、三日間のハワイ研修を行い、帰路に着きました。そして、十月二十三日には無事気仙沼港に帰港し、キハダマグロやメバチマグロなど約六・四トンの水揚げしました。一回りも二回りも大きくなって戻って来た我が子の姿に保護者も満足げな様子でした。

私たちが作った缶詰です

—産業経済科缶詰販売実習—

産業経済科では毎年二・三年生が缶詰の製造実習を行っており、向洋祭や階上公民館まつりで販売しており、毎回完売となっております。この度初の試みとして、道の駅大谷海岸の気仙沼市農林水産物直売センターで販売実習を行いました。十一月と十二月の三日間、産業経済科三年生が自分たちが造った缶詰を販売しました。販売開始時間前から列ができて予定数では足りなくなり、急ぎよ缶詰を追加し、おかげさまで三日間とも完売となりました。

ちりとりお使いください

—機械技術科製作実習—

機械技術科では、実習の一環としてちりとりを製作しておりました。震災前は向洋祭で販売していましたが、昨年度から製作実習を再開し、市内の仮設住宅に配布しています。今年度は、四十四カ所の仮設住宅に約八十個のちりとりを配布しました。十一月二十八日には、大島在住の生徒たちが仮設住宅を訪問し、住民の方にちりとりをお渡ししました。



部活動のページ

柔道部

第65回宮城県高等学校新人大会柔道競技
 個人戦 66kg級 1回戦 薄井一輝 薄井竜二
 第37回全国高等学校柔道選手権宮城県大会
 個人戦 73kg級 1回戦 薄井一輝
 2回戦 薄井竜二
 第37回宮城県高等学校柔道体重別選手権大会
 個人戦 66kg級 2回戦 薄井一輝 薄井竜二

相撲部

来年度の県総体に向けて精進しています。

卓球部

平成26年度宮城県高等学校新人大会卓球競技
 男子学校対抗 1回戦 ○対仙 台 (3-1)
 2回戦 ●対仙 台 三 (1-3)
 女子学校対抗 1回戦 ●対仙 台 三 (0-3)
 男子シングルス 1回戦 畠山海斗
 2回戦 小野寺達也
 3回戦 熊谷伸星
 4回戦 小野太世
 男子ダブルス 2回戦 小野太世・三浦真生組
 女子シングルス 1回戦 及川未来
 2回戦 伊藤若菜 千葉結友菜

テニス部

平成26年度宮城県高等学校新人大会テニス競技
 男子学校対抗 1回戦 ●対仙 台 東 (2-3)
 女子学校対抗 1回戦 ●対名 取 北 (0-5)
 男子シングルス 2回戦 中川 翔
 3回戦 尾形智志 加藤雄大
 4回戦 吉田直純
 男子ダブルス 1回戦 館澤史哉・佐藤陵二組
 2回戦 尾形智志・中川 翔組
 女子シングルス 1回戦 渡邊智香 小山 萌 長島花菜
 2回戦 小山寧々
 女子ダブルス 1回戦 小山 萌・長島花菜組
 3回戦 渡邊智香・小山寧々組

男子バスケットボール部

平成26年度宮城県高等学校新人大会バスケットボール競技
 1回戦 ○対米 谷 工 (56-50)
 2回戦 ●対仙 台 二 (58-136)

女子バスケットボール部

平成26年度宮城県高等学校新人大会バスケットボール競技
 2回戦 ●対利 府 (27-96)

バドミントン部

平成26年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技
 男子学校対抗 1回戦 ●対角 田 (1-3)
 女子学校対抗 2回戦 ○対明 成 (3-1)
 3回戦 ●対迫 桜 (0-3)
 男子シングルス 1回戦 鈴木 駿
 男子ダブルス 1回戦 鈴木 駿・木戸浦裕輝組
 女子シングルス 2回戦 畠山菜里子
 女子ダブルス 2回戦 村上なこ・畠山和香組
 稲村咲良・畠山菜里子組

男子バレーボール部

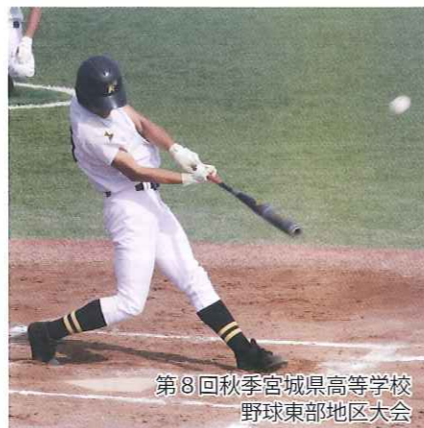
第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表
 決定戦兼第36回仙台放送杯争奪宮城県大会一次予選
 1回戦 ○対 泉 (2-0)
 2回戦 ●対白 石 工 (0-2)
 平成26年度宮城県高等学校新人大会バレーボール競技
 1回戦 ○対築 館 (2-0)
 2回戦 ○対石 巻 西 (2-0)
 3回戦 ●対仙 台 商 (0-2) ベスト16

女子バレーボール部

第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表
 決定戦兼第36回仙台放送杯争奪宮城県大会一次予選
 1回戦 ●対富 谷 (0-2)
 平成26年度宮城県高等学校新人大会バレーボール競技
 1回戦 ●対聖ドミニコ (0-2)

野球部

第8回秋季宮城県高等学校野球東部地区大会
 2回戦 ○対志 津 川 (4-3)
 3回戦 ●対松 島 (0-7)
 敗者復活戦
 2回戦 ●対気 仙 沼 (2-5)



第8回秋季宮城県高等学校野球東部地区大会

ヨット部

平成26年度宮城県高等学校新人大会ヨット競技
 男子420級 第2位 54886艇 小野寺真・佐藤和春ペア
 男子FJ級 第2位 1721艇 菅野 親・高橋純哉ペア
 第2位 1500艇 菊田聖也・阿部優也ペア



平成26年度新人大会

ラグビー部

第94回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会
 宮城県予選大会
 2回戦 ○対白 石 工 (55-7)
 3回戦 ○対仙 台 三 (26-19)
 準決勝 ●対仙台育英 (0-73) ベスト4
 第67回宮城県高等学校新人大会ラグビーフットボール競技
 2回戦 ○対佐 沼 (41-5)
 3回戦 ○対宮城水産 (68-7)
 準々決勝 ●対仙 台 三 (19-33) ベスト8



第94回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会宮城県予選大会

写真部

向洋祭写真展示
 第21回宮城県高等学校写真展
 支部合同写真展
 「みんなの笑顔プロジェクト」写真教室



みんなの笑顔プロジェクト写真教室

ハイテククラブ

ものづくりコンテスト宮城県大会旋盤作業部門
 優良賞
 全国ロボット相撲東北大会(岩手県)
 ラジコン型2台出場
 高文連本吉支部生徒科学研究発表会(兼サイエンスラボ in 気仙沼)
 気仙沼市児童生徒理科研究コンクール(気仙沼市教育委員会奨励賞)



サイエンスラボ in 気仙沼

軽音楽部

第3回気仙沼ストリートライブフェスティバル
 第7回御伊勢浜ライブフェスタ
 向洋祭ライブ
 気仙沼サンマフェスティバル2014



第7回御伊勢浜ライブフェスタ

電波研究会

来年度のものづくりコンテストに向けて鋭意準備中です。

VFC同好会

社会福祉法人 唐桑園 夏祭り参加(8月)
 24時間テレビ募金活動参加(8月)
 ボランティア講座参加(8月)
 赤岩児童館 工作教室参加(8月)
 障害者支援センター 行事補助(9月)
 社会福祉法人 松峰園 文化祭参加(10月)
 ツール・ド・東北エイドステーション補助(10月)
 気仙沼支援学校 文化祭参加(10月)
 向洋祭参加(10月)
 地域清掃(11月)
 赤岩児童館 カレープロジェクト参加(1月)

卒業生・専攻科修了生進路決定状況

(二月二十日現在)

〈就職内定先一覧〉

情報海洋科

海洋類型

金力汽船株式会社／共和水産株式会社／日東水産株式会社／株式会社天洋／株式会社新洋船舶

情報電子類型

日本電気株式会社／富士通ネットワークソリューションズ株式会社／株式会社システムステーション／日通商事株式会社ロジステイクス・サポート事業部／株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング／キヤノン電子株式会社東京本社／日本無線株式会社／アンリツ産機システム株式会社／東京水産運輸株式会社／コスモシステム株式会社／戸部電材株式会社／東日本通信機器株式会社／佐藤通信工業株式会社／有株式会社宮城電子サービス／三陸印刷株式会社／株式会社気仙沼商會／社会福祉法人憲心会／宮城県職員(水産)／宮城県高等学校実習助手(工業)

産業経済科

山崎製パン株式会社／ヤマザキ・ナビスコ株式会社古河営業所／敷島製パン株式会社バスコイーストカンパニー／株式会社鈴廣蒲鉾本店／株式会社崎陽軒／株式会社錦松梅／株式会社オーイズミダイニング／勝山企業株式会社仙台勝山館／水戸開発株式会社株式会社ホテルニュー水戸屋／株式会社斉吉商店／株式会社小野万／宮城東洋株式会社気仙沼工場／気仙沼ほてい株式会社／株式会社オサベフーズH・Bフーズプロダクツ／株式会社阿部長商店サンマリン気仙沼ホテル観洋／株式会社千葉誠／気仙沼管工業協同組合／有株式会社藤仙／医療法人あさひ会おだか医院

機械技術科

キヤノン電子株式会社／株式会社小森コーポレーション／リック株式会社／株式会社アクテイオ／高周波工業株式会社／ジオマテック株式会社／株式会社おやま製作所／北斗株式会社／株式会社新和エンジンサービス／株式会社新和機械／株式会社電業／気仙沼板金株式会社／株式会社クマケー建設／茂木建設株式会社／株式会社トップハウザーササキ／株式会社丸本建設／アサヤ株式会社

専攻科漁業科

株式会社福島漁業／株式会社勝栄丸／鶴丸海運株式会社／昭和日タンマリタイム株式会社／泉汽船株式会社／水産庁

専攻科無線科

宇宙技術開発株式会社／株式会社エポットサービス

〈進学先一覧〉

情報海洋科

海洋類型

富士大学経済学部経営法学科／東京理容専修学校／全国漁業協同組合学校／本校専攻科漁業科

情報電子類型

東京法律専門学校行政学科／東北電子専門学校電気工学科／東北歯科理工専門学校歯科技工士科／仙台リハビリテーション専門学校理学療法学科／仙台理容美容専門学校美容科／宮城調理製菓専門学校カフェ・レストラン&パティスリー科／本校専攻科無線科

産業経済科

東京海洋大学食品生産学科／仙台青葉学院短期大学こども学科／仙台青葉学院短期大学栄養学科／華学園栄養専門学校栄養士科／埼玉県調理師専門学校調理師養成科／仙台スweets&カフェ専門学校カフェ専攻／東北ヘアモード学院美容科／仙台こども専門学校保育科／仙台理容美容専門学校美容科／仙台総合ビジネス公務員専門学校販売ビジネス科／大原簿記情報公務員専門学校OA事務学科／大原簿記情報公務員専門学校経理事務学科／仙台医療秘書福祉専門学校診療情報管理士科総合学園ヒューマンアカデミー仙台校ビジネスカレッジ／総合学園ヒューマンアカデミー仙台校パフォーミングアーツカレッジ

機械技術科

富士大学経営法学科／東北電子専門学校情報システム科／東北電子専門学校ゲームエンジニア科／国際医療福祉専門学校一関校理学療法学科／専門学校日産栃木自動車大学校／専門学校花壇自動車大学校一級自動車科／東北職業能力開発大学校電子情報技術科／東北職業能力開発大学校電気エネルギー制御科／仙台高等技術専門学校電気科／気仙沼高等技術専門学校自動車整備科／気仙沼医師会附属看護学校

資格取得一覧

2月20日現在

全商1級3種目以上合格者 2名! (産業経済科)

情報海洋科

三級海技士(航海)筆記試験(科目合格)	JK 3 : 4名
第一級小型船舶操縦士	JK 3 : 11名
潜水士	JK 3 : 4名
危険物取扱者 乙類4種	JK 3 : 1名
水産海洋技術検定	JK 1 : 13名
全商ビジネス文書実務検定 3級	JK 1 : 2名
全商ビジネス文書実務検定 3級速度部門	JK 1 : 2名
全商ビジネス文書実務検定 3級文書部門	JK 1 : 1名
第一級総合無線通信士(科目合格)	JJ 3 : 1名
第三級総合無線通信士	JJ 3 : 22名
第三級総合無線通信士(科目合格)	JJ 3 : 6名
	JJ 2 : 12名
第一級陸上無線技術士(科目合格)	JJ 3 : 4名
第二級陸上無線技術士	JJ 3 : 8名
第二級陸上無線技術士(科目合格)	JJ 3 : 10名
	JJ 2 : 16名
第一級陸上特殊無線技術士	JJ 3 : 28名
第一級海上特殊無線技術士	JJ 3 : 28名
船舶局無線従事者証明	JJ 3 : 28名
工事担任者総合種	JJ 3 : 2名
工事担任者総合種(科目合格)	JJ 3 : 7名
工事担任者 DD 1種	JJ 3 : 4名
工事担任者 DD 1種(科目合格)	JJ 3 : 9名
工事担任者 DD 3種	JJ 3 : 22名
	JJ 2 : 12名
	JJ 1 : 1名
工事担任者 DD 3種(科目合格)	JJ 3 : 3名
	JJ 2 : 6名
	JJ 1 : 5名
工事担当者 A 1 3種	JJ 3 : 6名
	JJ 2 : 1名
情報技術検定 3級	JJ 3 : 10名
	JJ 2 : 10名
	JJ 1 : 1名
情報通信エンジニア(ビジネス)	JJ 3 : 1名
電気工事士	JJ 3 : 1名
危険物取扱者 乙類4種	JJ 3 : 1名
	JJ 2 : 1名
全商ビジネス文書実務検定 3級	JJ 3 : 12名
フォークリフト運転者	JJ 3 : 3名
秘書検定 3級	JJ 3 : 1名

産業経済科

全商ビジネス文書実務検定 1級	S 3 : 7名
	S 2 : 6名
全商ビジネス文書実務検定 1級速度部門	S 2 : 2名
全商ビジネス文書実務検定 1級文書部門	S 3 : 1名
	S 2 : 3名
全商ビジネス文書実務検定 2級	S 3 : 7名
	S 2 : 22名
全商ビジネス文書実務検定 2級速度部門	S 3 : 1名
	S 2 : 2名
全商ビジネス文書実務検定 2級文書部門	S 2 : 5名
全商ビジネス文書実務検定 3級	S 1 : 39名
全商簿記実務検定 1級	S 3 : 1名
全商簿記実務検定 1級会計部門	S 3 : 1名
全商簿記実務検定 2級	S 3 : 1名
	S 2 : 7名

全商簿記実務検定 3級	S 1 : 30名
全商情報処理検定 2級	S 3 : 3名
	S 2 : 7名
全商情報処理検定 3級	S 3 : 1名
	S 2 : 7名
	S 1 : 27名
全商珠算・電卓実務検定 電卓1級	S 3 : 2名
全商珠算・電卓実務検定 電卓普通計算部門	S 3 : 4名
	S 2 : 10名
	S 1 : 28名
全商珠算・電卓実務検定 そろばん 1級普通計算部門	S 1 : 1名
	S 3 : 1名
全経電卓計算能力検定 4段	S 3 : 1名
全経電卓計算能力検定 3段	S 3 : 1名
全経電卓計算能力検定 2段	S 3 : 1名
全経電卓計算能力検定 1級	S 3 : 9名
全経電卓計算能力検定 2級	S 3 : 16名
全経電卓計算能力検定 3級	S 3 : 5名
日情文書デザイン検定 1級	S 3 : 17名
H情プレゼンテーション検定 1級	S 3 : 3名
ボイラー取扱技能講習修了	S 3 : 5名

機械技術科

3級機械加工技能士 普通旋盤	K 3 : 3名
	K 2 : 1名
3級機械加工技能士 フライス盤	K 3 : 2名
3級機械検査技能士 機械検査	K 3 : 7名
3級機械保全技能士 機械系保全	K 3 : 5名
	K 2 : 6名
3級電気機器組立技能士 シーケンス制御	K 3 : 3名
危険物取扱者 乙類4種	K 3 : 4名
	K 2 : 7名
危険物取扱者 丙種	K 1 : 23名
第二種電気工事士	K 2 : 1名
工事担任者 DD 3種	K 3 : 4名
トレース技術検定 2級	K 3 : 30名
	K 2 : 32名
計算技術検定 3級	K 1 : 25名
情報技術検定 2級	K 2 : 1名
情報技術検定 3級	K 1 : 22名
パソコン利用技術検定 3級	K 3 : 4名
	K 2 : 2名
パソコン利用技術検定 2級	K 3 : 1名
アーク溶接特別教育修了	K 3 : 37名
ガス溶接技能講習修了	K 3 : 21名
ボイラー取扱技能講習修了	K 3 : 34名
ジュニアマイスター(シルバー)	K 3 : 3名
	K 2 : 4名
ジュニアマイスター(ブロンズ)	K 2 : 1名

専攻科漁業科

三級海技士(航海)筆記試験	PF 2 : 6名
第一級海上特殊無線技術士	PF 2 : 6名
船舶衛生管理者	PF 2 : 6名

専攻科無線科

第一級陸上無線技術士	PR 1 : 1名
第一級陸上無線技術士(科目合格)	PR 1 : 1名
第二級陸上無線技術士	PR 1 : 3名

三学年担任団より

感謝

三学年主任 川村 桂史

三年生の皆さん、そして保護者の皆さんご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様のおかげでは本校の教育活動に多大なご協力を頂きまして誠にありがとうございます。学年主任として関わらせていただき誠にうれしく、感謝を申し上げます。保護者の皆様にとってご満足のいく三年間に取り組むことができていたかどうかは今後検討し、見直すべき事案に関しては改善し、更なる要望に応えられるようして参りたいと思っております。

学年主任としては学年全生徒の担任として、また担任の担任としての思いで過ごし、野外活動や、体育祭、文化祭など様々な行事において担任が羨ましく感じた三年間でもありました。入学当初は、中学生と何ら変わらない言動や行動がありました。現在においては本当に様々な面で成長を感じさせられました。生徒にとっても私にとっても本当に貴重な三年間でした。不自由な学習環境や部活動・学校行事のなか、保護者の方々には沢山のご協力をいただき

ました。今後、少しずつではありますが環境が整って参ります。これから気仙沼向洋高校そして向洋生を温かく、そして厳しく応援していただければ幸いです。

三年間本当にありがとうございます。また。

更なる成長に期待して

情報海洋科担任 伊達 一幸

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には今日まで多大なご協力をいただきありがとうございます。卒業生の皆さんには、設備や施設が必ずしも十分ではない中、高校生活の全てを仮設校舎で過ごしました。学ぶ場所がある、共に学ぶ友人がいるといった、高校生として当たり前と思えることに感謝しながら過ごした三年間は、震災を乗り越え卒業を迎える皆さんだからこそ大事にして欲しいと感じています。

四月からは、自ら選んだそれぞれの道へ進むこととなります。ここでは新たな出会いだけでなく、様々な試練が待ち受けています。皆さんならきつと乗り越えて

くれると信じています。次に出会うときには更に成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

海せば成る

産業経済科担任 西間木 俊

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。生徒の皆さんが過ごしたこの高校三年間、施設設備が十分とは言えない仮設校舎で、少なからず不自由な思いをしながらの学校生活だったと思います。でも、そのよ

うな中で、周囲の友人、先輩、後輩と協力しながら、また様々な方々からの支援を受けながら、着実に成長していく皆さんの姿を見ていくことは、担任としてとても嬉しいことでした。最後に、これから社会へ巣立つ皆さんへ「海せば成る」という言葉を贈りたいと思います。本当は後にもっと言葉が続くのですが、それは自分で調べてみてください。この三年間で皆さんが苦労して身につけてきた、強い意志を持って進む力をこの先の人生でも生かして行ってください。期待しています。

経験を糧に

機械技術科担任 前田 航

卒業生のみなさん、そして保護者の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまでの本校の活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。この三年間、卒業生の皆さんは得難いたくさんの経験をさせていただきました。一年次には機械技術科の実習を仮設校舎で行うことができず、米谷工業高校さんの施設をお借りするためにバスで一時間以上かけて移動して授業を行いました。授業のみならず放課後の部活動においても、他校や地域の施設をお借りしての活動も多く不自由な思いを多々してきました。だからこそ、感謝の気持ちや当たり前が決して当たり前ではないことをより深く感じる事ができたのではないのでしょうか。今後の人生においても、これらの経験を自信に変えて頑張ってください。保護者の皆様、三年間本当にありがとうございます。

◆編集後記◆

PTA副会長 伊藤 富美

卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。震災という苦しい経験を、それぞれの思いを胸に頑張り抜いた子どもたち。向洋生という誇りを胸に、いつまでも感謝の気持ちを忘れず、これから進んでほしいと願っております。また、調査広報委員会では、一つでも多くの情報や生徒の様子を伝えたいという思いで取り組んでまいりました。一年間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

PTA調査広報委員会

委員長	伊藤 富美	小野寺 憲一
委員	石川 明人	千葉 瑞穂
	千葉 洋一	遠藤 光晴
	熊谷江 維子	千葉友 紀子
	白井 弘幸	金野 美香
	千葉 義弘	
	岩井 智美	
事務局	畠山 茂樹	畠山 和馬

発行

宮城県気仙沼向洋高等学校
PTA調査広報委員会

気仙沼市九条213-3
TEL0226-22-1131

E-mail: chief@kkouyo-h.myswan.ne.jp

印刷/小宮山印刷工業株式会社